

東京港にクイーン・エリザベス来航

2024.5.15 池田良穂

今年も東京で開催されたシップ・オブ・ザ・イヤーの選考委員会(日本船舶海洋工学会)に出席しました。今年は5隻の応募があり、客船では、小型客船部門に萩海運の「あいしま」がノミネートされています。選考結果は今週末にプレスリリースされますので、お楽しみに。

さて、関西国際空港から羽田空港に飛行機で移動して、富士山や、東京湾の上空からのシップウォッキングもできました。また、選考委員会までの時間は、新橋駅からゆりかもめで東京国際クルーズターミナル、青海のRORO船ターミナルを回りました。クルーズターミナルには、ちょうどキュナードの9万総トンクルーズ客船「クイーン・エリザベス」が停泊していました。4月7日発から日本発着クルーズを開始して、5回の定点定期クルーズを行っており、5月24日には東京を出港して函館等に寄港してアラスカに向います。

大阪への帰りには、羽田空港の第2ターミナルのレストランで夕食を食べながらのシップウォッキングが楽しめました。行き交う船は少なかったのですが、東京港を出港する沖縄航路のRORO貨物船「琉球エキスプレス」が夕日に輝いて航行する様子を見ることができました。



羽田空港に着陸する直前に、浦賀水道を抜けて東京湾を縦列で進む船隊を眺めることができました。



潮風公園から撮影した東京国際クルーズターミナルに停泊する「クイーン・エリザベス」です。



ゆりかもめの車窓から撮影したクルーズターミナルと QE の姿です。手前に南極観測船「宗谷」が係留されています。



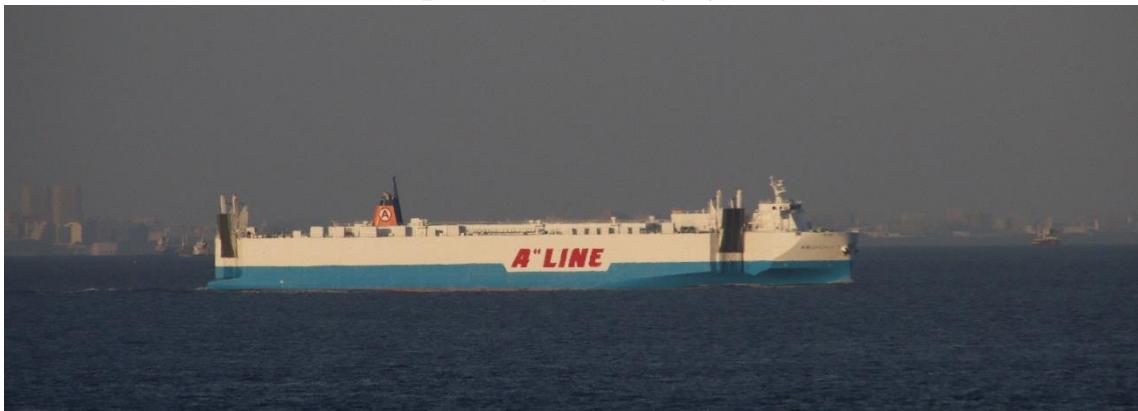
ゆりかもめの青海駅から「しゅれいⅡ」の姿が見えました。



「ひまわりとうきょう」という聞きなれない船名の RORO 船が停泊していました。船主は鳳生汽船で、元「さんふらわあとうきょう」で、今も東京～博多間で運航されているようです。



ゆりかもめがレインボーブリッジのループを通過する時にも QE の姿が見えました。



羽田空港の第 2 ターミナルのレストランの窓から見た沖縄航路のマルエーラインの RORO 貨物船「琉球エキスプレス 7」です。波もほとんど立てずに、滑るように走っていました。